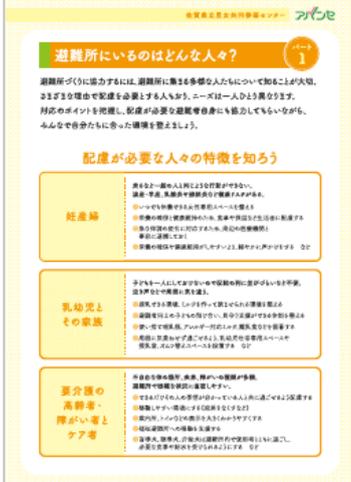
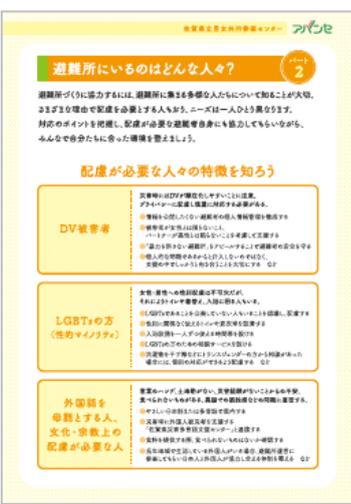


貸出内容

～パネルの紹介 (A1 サイズ、10枚)～

<p>1 枚目</p> 	<p>2 枚目</p> 
<p>3 枚目</p> 	<p>4 枚目</p> 
<p>5 枚目</p> 	<p>6 枚目</p> 

7 枚目



8 枚目



9 枚目

避難所運営に参加してみよう!

避難所運営に参加するには、男女共同参画の考えを取り入れた避難所づくりの考えを知ることが大切です。

性別や年齢で役割を決めない

日本の大震災の避難所では、救急処置も女性だけが担い、炊き出しも男性が担った。食事の準備も男性が行い、清掃などの役割が性別や年齢で限られていた。例えば、小児科が被災児や高齢者を、高齢者が子どもたちの話し相手をするなど、それぞれが可能な役割を担うことが大切です。

多様な人々と協力しよう

避難所は、性別や年齢、障がいのある者、外国人の避難、高齢者、LGBTQなどの多様な人々、一人ひとりがそれぞれの役割を担って運営していくことが必要です。多様な参画を促すために、多様な参画を促すための運営に参加して、誰もが安心して過ごせる体制や環境を整えていくことが大切です。

10 枚目

日頃からできること

災害に備えて、日頃からできることをおこなってください。

男女共同参画にも関係する参加

これまで災害では、避難所運営を担っている男性が避難所運営の中心となっていました。性別を問わず、多様な参画が促進された避難所運営には、地域の生活の場が活かせるように、日頃から男女共同参画の考えを取り入れた地域づくりに取り組む、男女共同参画に関する研修に参加しましょう。

地域のつながり

日頃から声をかけあい、地域行事や防災訓練を通じて交流を深めることが大切です。

防災への女性の参画

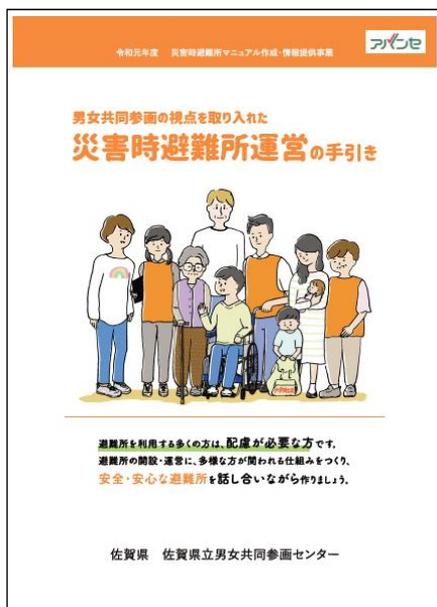
避難所運営や防災についての参画に女性が参画するには、日頃から防災の知識を身に付け、防災に関する活動に参加することが大切です。日頃から、日頃から防災知識の普及と女性比率の向上を促します。

多様な団体などの参画

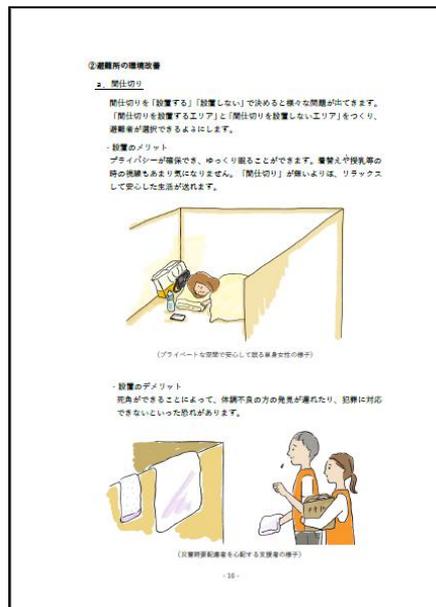
自治体関係や避難所運営の各関係者に、地域の関係者の多様な参画の役割・世代の異なる参画を促すことを目指しましょう。

おまけ
佐賀県立男女共同参画センター（アビレ）では、多様な人が関わり、安全・安心な避難所づくりが可能な避難所運営を促す「男女共同参画の視点を取り入れた災害時避難所運営の手引き」を作成しました。この手引きは、自治体や民間関係機関等に配布し、活用されています。この手引きは、自治体や民間関係機関等に配布し、活用されています。この手引きについて詳しく知るために是非ご覧ください。

～男女共同参画の視点を取り入れた
災害時避難所運営の手引き（A4サイズ、88ページ）～



(表紙)



(本文の一部)